

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

高橋眞千子 議員



問

太陽の丘は
コスモス園だけじゃない！

答

太陽の丘、花を中心に！
バスの利用者は少ない

問

太陽の丘えんがる公園の今後について

① 太陽の丘は、コスモスの花だけではありません。春に咲く、桜、芝ざくら、ツツジの時期に高齢者の方などが「花見」ができるよう、バス運行の考えはありますか。

② ツツジの花をコスモス畑の下の方に移してはどうでしょうか。

答

③ 太陽の丘は「虹、光インガルシ」の3つのエリア構想がありました。「虹のエリア」以外、残された2つのエリアについての今後の構想をお聞かせください。

④ コスモス畑まで、花で誘導するような花壇作りの考えはありませんか。

町長

① コスモスフェスタ時期にバスを運行させましたが、利用される方は少ないのが実態です。運行を拡大することには、利用者の状況、民間事業者への影響など、課題が多くあることから、しばらく状況を見たいと思います。

② ツツジの場所を移す議論は、以前にもありました。クロフネツツジは順

調に育っていますが、カバレンゲツツジは、土壌の関係なので大きくなっています。ツツジの花を移すには、相当額のお金が必要なので、思いついた決断ができない状況でした。今後、何か考えていかなければならないと思っています。

③ 当面、花ということで全力を注いできました。ようやくコスモスの花が認知されてきたと思っています。当面は、花を重点的にやっています。

④ 道路などの関係もあり、担当部局とも相談が必要です。コスモスが発芽するかどうかが、別の所ではありますが、一部実験したいと考えています。

商工観光課長

④ 道路などの関係もあり、担当部局とも相談が必要です。コスモスが発芽するかどうかが、別の所ではありますが、一部実験したいと考えています。

問

公共施設の節電対策について

答

デマンドコントローラーで節電

問

東日本大震災、原発事故後、さらに町として節電対策をすべきです。

町長

節電の対策として、白滝総合支所と遠軽図書館に「デマンドコントローラー」(高圧設備の最大需要電力の低減装置)を設置して最高需要電力を抑制することにより基本料金も低く抑えることができ、経費の節減にもなっています。

今後期待できる施設等への設置を検討していきます。又、防犯灯のLED化

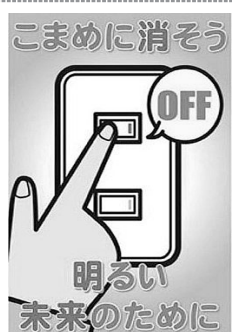
の試行を実施します。

これまでも、昼休みの消灯、パソコンも小まめに電源を切るなどの節電対策を実施しており、大震災以降は、さらに、職場家庭での節電協力なども要請したところです。

デマンドコントローラーとは

需用電力(デマンド)を常時監視し、契約電力を超えないように回路負荷を制御する装置。

電力コストを低減するために電力変化を常時監視し、30分ごとの最大電力を連続的に予測。あらかじめ設定した電力を超える恐れがある場合、事前に警報を出し、負荷を自動的に遮断し、最大電力に余裕ができた時に自動復帰させる制御装置のことです。



ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

松田 良一 議員



問

有害鳥獣駆除対策について

答

道・遠軽町内猟友会とも
協議しながら進めていく

問

毎年、エゾシカやヒグマによる農作物、飼料作物への被害が大変多く、町も毎年相当額の有害鳥獣駆除対策費を、計上をしています。

また、道も本年度より有害鳥獣駆除対策強化のために、エゾシカ対策室を新設しています。

農家自身も自己防衛による駆除対策に動いています。

しかしながら、畑が広範囲にあるため、猟友会による駆除依頼をしなければなりません。

また、猟友会については、各地域内での駆除のみと聞いています。

各地域の猟友会の会員数に差があり、会員の多い遠軽地域の猟友会に、隣接する他の地域の駆除

依頼ができるよう柔軟な対応はできませんか。

また、猟友会は、駆除による鹿などの輸送が大変苦労しているとのこと。道を通じて自衛隊などによる輸送などの支援依頼ができませんか。

町長

本町においても、エゾシカによる小麦、ビートの農業被害額は、平成22年度で8400万円となっています。

このため、鳥獣による被害額防止のための特別措置法に基づき、遠軽町

鳥獣被害防止計画を策定し、猟友会の協力を得ながら、エゾシカの個体数調整やヒグマ、キツネ、

カラスなどの駆除を実施しています。

一方、高齢化等により

全道的にハンターの数が減少しており、町としても、北海道及び湧別町との共催で狩猟免許出前教室を開催するなど、ハンターなどの育成支援にも取り組んでいます。

本町における有害鳥獣駆除の状況ですが、エゾシカ及びヒグマについては、道の許可を得て有害鳥獣駆除を実施しています。駆除にあたっては、各地域において迅速な対応を必要とすることから、合併前の4地域ごとに許可を受けてきています。

隣接する他の地域の猟友会に駆除依頼ができるよう柔軟な対応ができるかということですが、来年度以降、猟友会各部署と協議していきます。

次に、自衛隊員が銃器



によりエゾシカの駆除を行うことは、自衛隊法により不可能とのことですが、本年2月に白糠町で実施した自衛隊による支援について、本町においても実施できないか、道とも協議をしていきます。町としても、猟友会各部署の協力を得て、エゾシカを初めとする有害鳥獣駆除対策に取り組む必要があると考えます。

質問、答弁は要約されています。

議会だよりでは質問・答弁の内容を議員それぞれが要約したものを載せております。質問・答弁の全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しくお知りになりたい方は遠軽町議会事務局へお問い合わせください。

なお、全文記載の会議録が出来上がるまで、当該議会が終了後、約3か月かかります。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

岩澤 武征 議員



問

政府は、昨年6月「子ども、子育て新システムの基本制度案要綱」を発表しました。

「新システム」は「利用者本位全ての子ども・子育て家庭に必要な良質のサービスを提供」する制度をつくるとうたっていますが、この内容を見ると様々な点で問題を含んでいます。

町の保育の実施責任がなくなり、今よりもサービスが低下するのではないかと、基本料金以外に払う料金が増えないか、入園で選別が起らないか、職員の身分はどうなるのかなど不安があります。

町長

幼保一体化については、幼稚園、保育所認定子ども園の垣根を取



白滝保育所

問

幼稚園・保育所の一体化に町はどのように対応するのか

答

国の動向を見極めながら実施していく

り払い幼稚園教育要領と保育所指針を統合し、小学校指導要領との整合性

一貫性を確保した新たな「子ども指針」を創設するということです。

法案が成立していないため、国の動向を見極めながら実施していきます。いずれにしても、町の子どもたちはしっかり遠軽町が育てます。いろいろ

問

改定介護保険法について

答

利用者の意見を尊重する

な人たちの意見を聞きながら実施します。

問

介護法は、本人や家族、介護職員の負担を増やし、さらには市町村に事業実施の責任を押し付ける内容になっています。

町長

衆議院本会議において、「要支援認定者が、介護予防サービスと本事業を選択する意思を

答

検討する

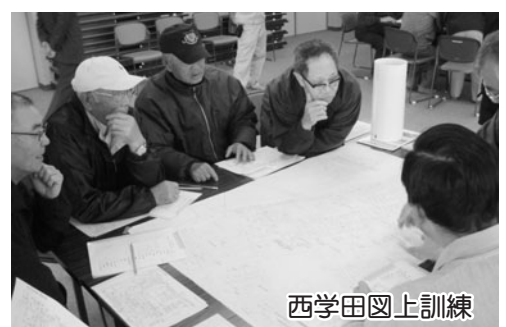
問

防災計画の見直しを

問

町民の命と財産を守るために最悪の事態を想定した備えが必要です。特に避難所となる公共施設の耐震化の実態は。

また備蓄品の補充は計画的に進める必要があります。



西学田図上訓練

町長

避難所となる学校や公民館など公共施設の耐震化について、6月1日現在で指定避難施設は46カ所であり、そのうち昭和56年度以前に建設され耐震化が図られていない施設については公民館の21カ所です。

備蓄品の補充整備は、災害用毛布のほか今年度から新たに災害用カーペットやおかゆ、飲料水などの非常用食料についても5か年計画で購入を予定しています。

災害時の備蓄品の充実を図っていきます。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

杉本 信一 議員



問

地域経済活性化の施策は

答

助成金や補助金等は
トータルで考える

問

本年度の町長施政執行方針の中で「元気な産業と活力あるまちづくり」に対する取り組みに関して、町長は各分野に対する具体的な施策を示され、その中でもプレミアム建設券の発行に関しては、予想以上の成果を上げました。

しかしながら、長引く景気低迷に加え東日本大震災の影響はこれから大きく影を落としてくると予想される中で、さらなる地域活性化の施策が必要と考えます。

一、オホーツクえんがる産業振興協議会の今後の展望はどのようなことと考えていますか。

二、商工業振興助成金制度を遠軽地区にも拡大する考えはありませんか。

三、競争入札に係る地域貢献度加算制度導入の考えはありませんか。

四、プレミアム付き商品券事業に再度取り組み考えはありませんか。

町長

オホーツクえんがる産業振興協議会に関する施策の推進について、地域経済の活性化に繋げることが目的とした農工商連携の一環です。

本年2回目のアスパラフェアを開催し、その生産量・参加飲食店も拡大してきました。今後は、同組織の中で加工品の生産や土産品の開発なども視野に入れ検討します。

商工業振興助成金制度の遠軽地区への拡大とプレミアム付き商品券事業に関しては、町独自の事業として行うには事業の

緊急度、施策の優先度を見極めることが重要です。競争入札に係る地域貢献度加算制度導入に関しては、地域経済の活性化、雇用の維持確保などを図るべく、平成25年度から審査項目に地域貢献の項目を追加する予定です。

再問

農工商連携のよきな事業を進めるにはしっかりと将来のビジョンを持ち、その道のスペシャリストを育てていくことは急務と考えます。

商工観光課長

将来的にはご当地グルメのような物や加工品の開発につなげるよう考えています。

再問

商工業振興助成金制度は創設から現在ま

で利用実績は皆無です。是非とも遠軽地区へ拡大をすべきです。

町長

助成金やプレミアム付き商品券、企業促進の補助金などはトータルで考え、必要に応じて検討課題と考えます。

問

職員の資質向上と意識改革を

答

まちづくりに活かせるような研修が必要

問

町の存続には職員の資質の向上が不可欠であり、同時にまちづくりに積極的に関わっていくための意識改革がどうしても必要と考えます。

今後の職員研修の在り方はどのように考えます

か。

町長

近年、地方自治体の自己責任・自己決定という政策力が求められています。

これまで以上にまちづくりに活かせるよう研修の質を高めていきます。

再問

町独自の政策を打ち出し、職員が自発的に街の将来を考え、民間のまちづくり団体と一緒に将来のビジョンを作り上げることが必要です。

町独自で将来を見据えた政策力のための研修が必要と考えますが。

総務課長

現状は町村会や道研修センター主催の研修がほとんどで、その内容も毎年変わっていません。

一方では、若手職員の中にも自発的に何かをしようという動きは出てきている中、町独自のスキルアップのための研修も必要と考えています。